

福岡県内の青年8名をハワイへ派遣しました

平成29年度は、昨年、福岡県との姉妹提携35周年を迎えたハワイ州にあるハワイ、ハワイ島、コナの県人会へ、2月23日～3月3日の日程で青年を派遣しました。派遣される青年は、緊張した面持ちで福岡を出発しましたが、現地で、県人会の皆様から温かい歓迎を受け、意欲的にプログラムに臨むことができました。

滞在中は、在ホノルル日本国総領事館を表敬訪問したり、日本文化センターで移住の歴史を学んだりするとともに、県人会員が経営するコーヒー農園をはじめ、日系人や日本人が働く企業や施設を見学しました。自分たちの目で見たり、生の情報を耳にしたりして、ハワイに関する様々な発見したり、多くのことを学びました。

また、県人会の皆様、ホストファミリー、ハワイ大学の学生など多くの方々と交流し、お互いの国やルーツ、家族などについて沢山のことを語り合い、大変充実した時間を過ごしました。

これらの貴重な経験を通して、青年たちが、今後、福岡県と海外県人会との懸け橋となって活躍してくれることを大いに期待します。

ハワイ島県人会



コナ県人会



ハワイ県人会



県費留学生8名が1年間の留学生生活を修了

今年度の福岡県移住者子弟留学生在が、1年間の留学生生活を終え、帰国の途に着きます。1年間の留学期間中に、それぞれの専門分野を学習するとともに、様々な日本文化や習慣を体験しました。

3月17日の留学証書授与式では、お世話になった学校の先生をはじめ、関係者の方々をお招きして、彼らが、福岡で学んだことや思い出などを発表しながら、1年間を振り返り、留学証書を授与した後、留学生在を囲んでの懇親会を行いました。

※留学生在の報告書(日本語のみ)は、当センターのウェブサイトに掲載しています。日本語のトップページで『子弟留学生在』と検索してください。



台湾福岡県人会会長による講演会を開催

今年度、第2回目の講演会では、台湾福岡県人会会長の吉岡桃太郎氏(作家)に、2月17日は県立玄界高校(古賀市)、翌18日は県立三池高校(大牟田市)で、お話しいただきました。

「文化に優劣はなく、あるのは違いのみであり、相互理解で国境を超えよう!」という講師からの熱いメッセージは、生徒の皆さんの心に強く響いた様子でした。

今後も、この事業を通じて、海外県人会の皆様と県民との絆を深め、福岡県の若者の目を海外に向けた機会を提供してまいります。

